

令和2年度 地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創造に取り組む活動団体及び取組概

団体名	活動地域	概要	取組み
令和2年度新規活動団体(10団体)			
1 鶴岡市三瀬地区自治会	山形県鶴岡市三瀬地区	行政主導ではなく自治組織(自治会)が主導し、人口減少が進み弱体化するコミュニティを地域資源を活用した取組で立て直し、郊外地の地域と地域が連携することでそれぞれの得意分野や知見を循環させ地域の生活基盤、教育等の必要なものの維持につなげるとともに、その連携体がさらに市街地や都市部の住民や企業と交流を持つことで、郊外地の魅力と資金や人材を循環させることで交流人口・関係人口、移住等の増加を目指し地域を活性化させる仕組みづくりを目指す。	・地域の森林資源活用によるエネルギーと資金の域内循環創出 ・食文化、農林漁業体験、能や歌舞伎の伝統芸能の体験プログラム化 ・鶴岡市内郊外地地域とノウハウを共有し横展開を図る。
2 越前市イノベーション研究会	福井県越前市	交通の要所となりうる南越駅の周辺整備をきっかけに、越前市の持つ自然資源や伝統工芸、地域の民間企業などの地域資源と、域外からやってくる、または引っ張ってくる人材や民間企業、新たな技術サービスなどを融合させ、イノベーションを起こし新たな産業を創出する仕組み作りを行う。越前市と都市部の域外交流を軸に、越前市の「フォレストシティ&スマートシティ」構想のもと、地域活性化や関係人口の増加などを目指す。	・今年度は民間が主体となり、様々な分野で活躍するメンバー間での新たな関係性を構築し、地域課題・地域資源の整理を行い、都市部の企業が越前市とつながりをもち、そして地域における経済性を確保する仕組みを検討する「越前市イノベーション研究会」を発足 ・また来年度以降、研究会は「地域課題解決カンパニー」として、地域の課題を解決するビジネスを創出するためのプラットフォームの確立を目指す
3 ゼロエミやまなし	山梨県北杜市	北杜市内に豊富に存在する太陽光や小水力などの卒FIT再生可能エネルギーを電力源とした民間企業主体の地域新電力会社の設立を中心に、低炭素な地域観光・地域交通・一次産業の実現に取り組み、地域の魅力向上を図る。また地域新電力会社の設立やグリーンスローモビリティなどの事業実現に向け、行政や地域金融機関等と民間事業者を結ぶプラットフォームを構築することで、再エネと共存した市民、移住者、観光客の三者それぞれにとって魅力あふれるまちづくりの事業モデルを目指す。	・『地域循環共生圏(ローカルSDGs)づくり』をテーマとしたジオデザインワークショップ(WS)を通じて、具体的な事業化推進のためのプラットフォーム構築(WSでは地域新電力会社の設立、グリーンスローモビリティの検討・実証、充電軽トラ導入の促進をテーマに行う) ・再生可能エネルギーを電気自動車(EV)のバッテリーに充電する際に、ブロックチェーンの技術を用いて取引履歴を残して、地域通貨と連携するインセンティブをグリーン電力の販売者に還元する仕組みや、このブロックチェーンでの取引によって、より大きなバッテリー(中古の電気自動車のバッテリー活用含む)を用いて充電して、さらにそれを別用途の電力利用に地域通貨で購入するシステムの開発とその実装方法について検討
4 郡上市地域共生圏協議会	岐阜県郡上市	概要の修正 郡上市循環共生圏では、「①再エネ・省エネ事業」と「②地域課題解決型事業」の2区分の組合せによって、持続可能な形で地域課題の解決にあたる。課題の1つに、観光地を巡ることができる公共交通の充実があり、公共交通が充実すれば住民の暮らしやすさも向上する。また、エネルギー代金の地域外への流出に関しては、建物の断熱性能の向上や空調機器の電化をする余地と、再生可能エネルギーのポテンシャルが地域内にある。	1. 地域の企業や金融機関、市民団体などを巻き込んだ勉強会などを通じて共通認識の醸成を目指す。 2. 地域外へのお金の流出を止めるため、デジタル地域通貨の導入を目指す。お金だけでなく、住民、観光客の移動情報も手に入れ、地域内の移動の利便向上に役立てる。
5 一般財団法人 うんなんコミュニティ財団	島根県雲南市	子供、若者、大人などの各世代の地域課題の解決や価値創造に取り組むチャレンジを支援し、相互に連携させることで、持続可能な地域づくりを目指す。また、たたら製鉄や有機農業などの従来からの自然と共生する文化を引き続き大切にしながら、学生、若者、企業や地域が協働し、そこに新たな価値を見出すことで、環境ビジネスとして実現させる。環境・社会・経済課題に対し同時解決を図るだけでなく、環境に興味を持つ企業や個人を引きつけ、多くの人を巻き込んでいく。	・使い捨てプラスチックの脱却流通モデルの構築 ・環境・経済・社会資本の棚卸し、ビジョン共有と指標化 ・地域内事業者の「ゼロ・ウェイスト認証」チャレンジの推進 ・雲南型サーキュラーエコノミーモデルの実装
6 美星町観光協会	岡山県井原市美星町	美しい星空を地域資源とした星空保護区の認定、豊かな自然を生かした観光プログラムの推進、ワーケーションの誘致など、「星空」をコアとした地域づくりを通じ、自然環境の保全や地域住民、観光客の自然を愛する心の醸成、高齢者が生きがいを持って元気に活躍できるまちの実現と美星町らしい魅力ある新たな製品の開発や仕事の創出を図り、地域経済が循環するまちの実現を目指す。	・「星空保護区・コミュニティ部門」の認定取得 ・星空や豊かな自然を生かした観光体験プログラムの推進 ・ワーケーションの誘致推進
7 かみかつ茅葺き学校	徳島県上勝町	上勝町八重地集落にある「かやぶき民家八重地花野邸」を拠点に、山のめぐみを介した都市と集落のネットワークを構築する。山の恵みを活かした従来の集落での暮らしを維持し、美しい自然を守るため、「かみかつ茅葺き学校」では、地域住民の暮らしの技術の伝承を図り、地域住民と町内、県内を含む他地域住民との有機的な関係性づくりを推進する。また、他地域住民から共感や資金が受けられる仕組みを構築し、人とお金が循環する持続可能な集落を作る。	・「かやぶき民家 八重地花野邸」を拠点とした、親子向け自然体験プログラムの実施 ・農林業のノウハウが学べる集落の仕事体験プログラムの実施 ・「かやぶき民家 八重地花野邸」の貸し館、民泊の推進 ・「かみかつ茅葺き学校」を介した集落への共感や資金が受けられる仕組み構築
8 特定非営利活動法人 84プロジェクト	高知県一円	多数の地域住民が、高知県最大資源の森林(84%)を活用して、特に若者世代の就業を実現させるプラットフォームを構築する。同時に、森林環境共生・防災・減災を両立させる。 具体的には「環境保全型で長期視点の多間伐施業」を実施する自伐型林業者の育成を行う。季節性のある自伐型林業と農業や観光等と組み合わせた生業を創出し、経済的にも環境的にも安定した就業や流通を実現させ、住み続けられる持続可能な地域づくりを目指す。	・「長期視点の多間伐施業」を実施する自伐型林業者の育成するために高知県小規模林業推進協議会と連携して、複数の中間支援団体を創出させる。 ・自伐型林業と農業等と組み合わせた生業となる事例の創出。特に県産品であるユズとの兼業型の生業事例を創出 ・自伐型林業を核にした地域共生圏づくりのためのシステム構築の検討(流通企業・金融機関・実践者・デザイナー・NPO等)。
9 北九州環境ビジネス推進会(KICS)	福岡県北九州市	北九州の特徴ともいえる廃棄物処理・リサイクル産業を中心とした環境ビジネスについて、地産地消のエネルギー導入や地域の動脈産業との連携の強化を図るとともに、北九州市の強みでもある産官学と市民の連携による地域循環共生圏づくりについて具体的に検討を進める。地域循環共生圏の概念のもと、エレンマッカーサー財団が提唱する循環経済の概念図(butterfly diagram)を参考に、自然循環と社会循環を大枠として捉え、地産地消型のエネルギーシステムへの変換を目指す。	1、地域エネルギー産業 ・洋上風力の実証事業 ・地域エネルギー会社による再生可能エネルギーの創出や地産地消型エネルギーシステムの構築 2、廃プラスチックリサイクル産業(社会循環) ・リサイクルインフラの構築(服から服を作る衣服リサイクルや携帯電話のリサイクル) ・廃プラと廃建材を活用したエコ建材の創出、ペットボトルや家電のリサイクル 3、食品リサイクル産業(自然循環) ・食品残渣による食品リサイクル、市内100企業と連携した食品ロス削減による支援活動
10 一般社団法人 MIT	長崎県対馬市	環境負荷の低い持続可能な林業と獣害対策の実施により豊かな森林資源を回復している姿、林産物やバイオマスの地域内での利用・消費が推進され地域循環の仕組みが再構築されている姿、先進的な取組みが世界から評価され国内外から視察あるいは癒し求めて観光客が多く訪れる姿、生態系本来の防災力を高め気候変動影響による被害を回避・軽減できている姿、対馬らしい産業とそれらの兼業等による自由度の高い働き方を実現している姿を具体的にイメージし、「自立と循環の島」を目指す。	・地域コンソーシアム「対馬の森づくり協議会(仮称)」の設置 ・環境保全型の小規模伐採による林業の施行 ・林内の生産物(木材・薪・炭・木工品・はちみつ等)生産・採集 ・シカ・イノシシのジビエ等の生産 ・エコツーリズムや環境教育での利用 ・バイオマスの熱や電気としての利用 ・地下水の利活用 ・防災対策、磯焼け対策

団体名	活動地域	概要	取り組み
令和1年度からの環境整備継続団体(17団体:一部今年度からの支援チーム派遣を含む)			
11 長沼町	北海道夕張郡長沼町	近年再飛来したタンチョウを活かし、タンチョウが安心して生息し繁殖・子育てできる環境を整備することで「タンチョウも住めるまちづくり」を目指す。本事業ではタンチョウの飛来先である舞鶴遊水地における観察拠点の充実や、タンチョウをモチーフとした商品開発・農産物のブランディングなどを検討し、タンチョウをシンボルにした農業・観光等産業の活性化を通じてタンチョウの生息と地域産業の好循環による持続可能なまちづくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・取組・活動の拠点施設の検討（廃校活用などの方策検討） ・環境に優しい農業（仮称：タンチョウ農業）の検討 ・町内学校の児童・生徒等を対象とした環境教育 ・町内事業者と連携したタンチョウ商品の展開 ・流域レベルでの取組に向けた検討
12 一般社団法人 Reborn-Art Festival	宮城県石巻市	アートと食と音楽の総合祭「Reborn-Art Festival」事業によって生み出される交流や様々なアウトプットを活用し、3.11から最も近い場所石巻をチャレンジできる場所としてクリエイティブなローカルベンチャーを育てることにより、一次産業の活性化、二次交通不足の解消、クリエイティブな学びの場づくり等、地方社会が抱える様々な課題解決に取り組み持続的なコミュニティづくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・「Reborn-Art Festival (RAF)」と地元の有志によりRAFを活かした地域振興を図る取り組み「RAF石巻実行委員会」 ・食肉加工施設をFERMENTOを拠点とした、有害捕獲された鹿のジビエ化・高付加価値化 ・ローカルベンチャーの創業、事業拡大、担い手となることを目的とした移住促進支援 ・カーシェアリングによる二次交通問題の解決 ・フィッシャーマンジャパンによる漁業の担い手作り
13 根羽村	長野県下伊那郡根羽村	流域は一つ「運命共同体」をテーマに、流域全ての地域に人が住み続け、流域全体で経済性と持続性を有した自然環境保全を図るため、矢作川の上下流域が一つの共生圏として、考え方や情報の共有や事業を進める実施主体を組織化する。上流域を会場としたエコツーリズム、下流域での木育事業を通じた環境教育や上流域の木材（流域材）の下流域での利用の促進や、エネルギーでの利活用を進めて行く。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林資源を活用した新たな事業の開発 ・働き方の多様性を実現するテレワーク事業とそれによる新たな雇用の創出 ・森林をフィールドとした幼児教育、環境学習、企業研修事業
14 一般社団法人 スマート・テロワール協会	長野県上高井郡小布施町	「信州スマートテロワール～農業を核とした自立（自律）分散型農村による共（競）創ネットワーク」をテーマとして、産業連関の構築と自立経済圏確立を目指す。①住宅や地域交通を対象としたエネルギーの地産地消の実証事業、②食と農の再構築と加工拠点の連携事業、③災害復興からの地域のレジリエンス強化と農村景観をつくる「公」担い手となる中核人材育成事業が軸となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域木材を使ったウェルネス住宅の体験…既存住宅の環境負荷の低減の実証 ・小布施版ソーラーシェアリングと農業モデル ・地域で作った電気を地域交通で使う仕組みの検討 ・平時に楽しみ有事に備える「農業×防災テーマパーク」 ・森の維持管理や森の木を伐りだすプロセスを学ぶ人材育成プログラム
15 富士宮市	静岡県富士宮市	富士山と水をテーマに、富士山麓に広がる豊富な森林資源等を活用し、自然環境の保全と経済活性化の好循環の構築と持続可能なまちづくりを目指す。また、観光施設、自然体験施設を活用した新たな価値の創出、農産物の地産地消など地域資源を生かした事業の推進を行う。エネルギー分野として小水力発電の導入促進、家畜排せつ物、下水汚泥及び森林資源を利用したバイオマス発電などのエネルギーの域内循環の仕組みにより、循環型社会の構築、低炭素社会の実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を産業で活用するためのネットワーク構築 ・林業の六次産業化（木質バイオマスボイラー） ・農業用水を活用した小水力発電（地域のエネルギーと特産品開発） ・下水道汚泥の固形燃料化 ・河川や海の環境問題について検討 ・E S G金融と連携した事業化に向けた体制づくり
16 おわせSEAモデル協議会	三重県尾鷲市	中部電力(株)尾鷲三田火力発電所の63万4千㎡の広大な跡地を活用し、尾鷲市・尾鷲商工会議所・中部電力(株)の3者がスクラムを組み、プロジェクトS（市民サービス・文化・観光）、プロジェクトE（エネルギー）、プロジェクトA（農林水産・商工業）の連携による新たな地域再生モデル「おわせSEAモデル」を創り上げることで、地産地消エネルギーの利活用による地域循環型社会の構築と魅力的なサービス開発による集客交流人口の増加によるシナジー効果によって少子高齢化・人口減少で悩む地域の活性化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所跡地をハブに自然・歴史的資源を活用したアクティビティ事業に取り組むプロジェクトS ・間伐材等を活用した木質バイオマス発電と未利用エネルギーを供給するプロジェクトE ・木質バイオ発電の熱を活用したアグリ事業（植物工場等）・アクア事業（陸上養殖）に取り組むプロジェクトA
17 認定特定非営利活動法人 まちづくり ネット東近江（東近江市環境円卓会議事務局）	滋賀県東近江市	地域課題を解決するための事業の継続や発展を支える融資制度を地域金融機関と連携し、地域の実情にあった融資や投資制度の構築を目指す。ESG投資を念頭に置き、審査基準や融資に関わる利子補給の仕組み等、具体的な仕組みを検討する「制度融資検討WG」を立ち上げ、運用へとつなげていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・湖東信用金庫および東近江三方よし基金が連携する制度融資制度 ・遊休地を活用した有機栽培野菜の販売、ブランド化 ・寄付を財源とした東近江の森と人をつなぐあかね基金による助成事業
18 亀岡市	京都府亀岡市	環境を軸とした地方創生SDGs実現のため、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」において目標として掲げた資源循環型の社会像の実現を目指す。ごみを捨てない大人に育てる環境学習、廃棄パラシュートからエコバッグを再生する「KAMEOKA FLY BAG PROJECT」、3Rの徹底といった取組みを企業・市民・行政連携で進めるとともに、CO2の発生抑制やエネルギー代金流出の抑制といった観点から、近隣市町との協働を視野に、エネルギーの地産地消を実現する地域社会を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄パラシュートから作るエコバッグ「FLYBAG」 ・亀岡ふるさとエナジー株式会社による再生可能エネルギー普及 ・企業連携やICTを活用した教育の充実によるグローバルな人材育成
19 環境アニメイティッドやお	大阪府八尾市	キンタイを軸とした農山村部と都市部の循環型共生圏づくりを進める。農山村部の高安地域では、森林資源や持続可能な有機農産物の地産地消を促進し、森林保全による土砂災害防止を進め、安全安心な自立分散型社会を構築する。ものづくりが得意な都市部八尾地域の中小企業と連携することで、里山の森林資源の利用方法の開発や里地で栽培される農産物の加工や商品化を共同開発し、それぞれの資源を補完し合いながら地域循環共生圏としての新しいまちづくりを創造する。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林資源であるバイオマスエネルギー、木材、木質オイルなどの活用 ・地域の農作物の販売、森林資源や河内木綿などを活用した体験の提供や商品の販売を行うマルシェの開催 ・絶滅危惧種1A類のニッポンバラタナゴを含む生物の保全と、エコツーリズムや自然体験イベント ・ニッポンバラタナゴを中心とした高安地域の資源を発信するための拠点の整備 ・豊かな自然と歴史資源を見所にしたエコツアー
20 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)	兵庫県宝塚市、川西市、川辺郡猪名川町	西谷、中谷、東谷の3地区それぞれの強みを生かし弱みを補完し合うことで、豊かな自然環境を保全し、さらに近接する都市部住民との交流を積極的に促すことで地域経済を活性化させる。里山保全をベースとして、域内の食料及びエネルギーの自給率（地産地消）を高め、バイオマスの利活用を促進し、地域交通の利便性を高めることにより、山間・農村部と都市部間の人と資源の還流を実現する地域循環共生圏モデルの形成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスの有効利用 ・グリーンスローモビリティの拠点を整備 ・地域経済循環の促進のための地域通貨の活用
21 コウノトリ定着推進連絡協議会	徳島県徳島市	コウノトリと人が共存できる環境の創造とコウノトリの定着を生かした農業振興、地域振興を図る。コウノトリの野外繁殖・定着を実現している環境にやさしい農業によって生産される農産物を都市部に供給するとともに、消費者がこうした農産物を優先的に購入して地域の取組を支援するよう働きかける。ヒト・モノ・カネが都市と地域で循環し、農産物の再生産と環境保全の取組が維持・拡大でき、地域の担い手も確保される「コウノトリが舞う国土づくり」を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・条件を満たす農家のレンコンをコウノトリおもてなしレンコンとして市が認証 ・企業、市民、学生も参加できる休耕地を利用したピオトープ作りや生き物調査 ・レンコンを使った料理教室等、様々なイベントを通じた生き物、環境、農業、農産物に関する啓発活動

団体名	活動地域	概要	取り組み
22 鹿島市ラムサール条約推進協議会	佐賀県鹿島市	肥前鹿島干潟・ヨシの堆肥・希少価値のある農産物・伝承芸能等の地域資源の活用による、循環型社会の形成、有明海の経済的活用と保全の両立、都市部からの交流人口の増加等により、地域循環共生圏の創造を目指す。また、下水道事業と連携し、汚泥有効利用施設で、生ごみ・農産物残渣・ヨシを堆肥化し、それをを用いた農産物をラムサールブランド特産品としてのブランド化により、有明海のPRと有明海の保全再生のため資金（肥前鹿島干潟基金）を募る。	・既存のラムサールブランド認証品の販路拡大、市内事業所への売込みを行い基金の増額を目指す。 ・デスポーザー導入による生ごみ、規格外農作物の堆肥化により、農産物をラムサールブランド商品として流通させ有明海の保全につなげる。 ・エコツーリズム等干潟の利用拡大を図り、資金や雇用を確保するとともに干潟への関心を高める
23 小国町（熊本県）	熊本県阿蘇郡小国町	「環境モデル都市」としての取組を経済・社会分野にも発展させ、地域資源（地熱・森林）を活用した循環型社会と産業を創出し、将来にわたって持続可能なまちの実現を目指す。小国町は地熱・風力・太陽光・水力発電など資源が豊富な地域であり、再生可能エネルギーによる発電を行っている。豊かな自然環境を守りながら事業を拡大し、エネルギーの地産地消を目指している。	・地熱を利用したスマートアグリビジネス事業（カカオ豆生産の実証実験） ・新モビリティサービス（グリーンモビリティバス）の社会実装の検討 ・ツーリズム（グリーン、医療、教育）によるSDGs（地域循環共生圏づくり）の普及展開
24 熊本県、南阿蘇村	熊本県阿蘇郡南阿蘇村	熊本の宝である阿蘇の草原を資源として活用し、新たなビジネスを創出するなど、草原再生に向けた新たな草原維持システムの構築を目指す。また、南阿蘇村の豊富な湧水を活用し、村を代表する特産品の開発を行い、新たな産業の創出を行うとともに、地下水保全に向けた意識の醸成を目指す。さらに、再生可能エネルギーの利用についても検討を行い、エネルギーの地産地消と地域内経済循環の促進及びCO2削減を目指す。	・草原再生に向けた草原維持システムの構築 ・地域資源を活用した特産品の開発と再生可能エネルギーの利用
25 徳之島地区自然保護協議会	鹿児島県大島郡徳之島町	生物多様性保全に配慮した農業の推進と、世界自然遺産登録を契機とした徳之島世界自然遺産ブランドの確立により、農産物等の高付加価値化を図る。また、希少種と共存可能な食外対策を確立し農業体験・クロウサギ観察ナイトツアーなどを組み合わせ、滞在型の観光商品をつくり集落と連携した地域循環共生圏の確立を目指す。付加価値のついた農産物等の販売やエコツアーで得た利益の一部を自然環境保全維持等に抛出し、希少野生生物と共存した地域づくりの実現、地域における持続可能な利益の循環を図る。	・徳之島産農作物の高付加価値化（ブランド化）事業 ・アマミノクロウサギ食害モニタリング事業 ・徳之島環境学習事業 ・エコツアーの検討
26 宮古島市	沖縄県宮古島市	観光客数が、過去4年で約3倍増し、「宮古島パブル」とも言われる中、地域経済の現状を分析・把握し、市民の豊かさに繋げるための方策を様々なステークホルダーとワークショップやマンダラづくり・シンポジウムの開催を通して共有している。また、ローカルファイナンスの考え方に基づいた地域資源を活用した新たなビジネス創出の支援を行うため産官民連携の協議会立ち上げの検討を行っている。	・昨年度の宮古島市版のマンダラづくりのノウハウを活用して、地域別・分野別マンダラづくりを行う。 ・地域循環共生圏やSDGsを市民向けに周知する活動等を行う。
27 国頭村	沖縄県国頭郡国頭村	世界自然遺産候補地である「やんばるの森」を擁する、豊かな自然に恵まれた国頭村の地域産物について、村内事業者やホテル・教育施設など多様な主体と連携した地産地消の推進、付加価値化、更にふるさと納税返礼品をはじめとする村外消費の促進等により、安定かつ十分な需供構造を持つ自立分散型社会『地域の人もヤンバルクイナも元気な農林地域』の構築を目指す。将来的に、周辺環境への貢献など追加的な付加価値化の手法を産学官協力のもとで検討し、持続可能な自然環境と地域社会の両立を図る。	・地域産物の高付加価値化 ・地産地消の推進 ・畜産糞尿の堆肥化
支援チームが派遣される団体(4団体)			
28 特定非営利活動法人 仕事人倶楽部	岩手県北岩手9市町村(久慈市、二戸市、九戸郡軽米町、洋野町、九戸村、野田村、二戸郡一戸町、岩手郡葛巻町、下閉伊郡普代村)	岩手県北9市町村が豊富なポテンシャルを持つ再生可能エネルギーと大都市・横浜市との連携協定を軸に、一次産業による豊かな食資源や自然資源等域内の多様な資源を活用して、9市町村が連携し広域的な圏域形成と、農山漁村と都市のヒトやモノの交流により、持続可能な地域社会の実現を目指す。	・完全有機の北岩手の雑穀をシリアル化し、世界的なブランド構築を目指す。 ・北岩手が一大生産地である山ぶどうをワイン化し、北岩手山ぶどうワイン王国の構築に取り組む。 ・北岩手の日本一の白樺美林を後生へ残すため、白樺を活用し白樺林の保全につながる商品開発と体制づくりを行う。
29 小田原市	神奈川県小田原市	これまで構築してきた地域の多様な関係性を活かして地域コンソーシアムを組織し、耕作放棄地・鳥獣被害・森林や里山の管理不足等の課題を解決する取組を推進し、豊かな森里川海を保全・再生し、そのつながりを取り戻すことを目指す。その実現に向け、課題解決活動を経済的・社会的に価値化し、EVカーシェアによるMaaS事業等との連携や全体のブランディングを通して、域内外における課題解決に関わる人と資金の循環を推進していく。	・小田原市の生活や経済の基盤を支える森里川海などの地域課題の解決に資する事業（コンテンツ）を創出。 ・おだわら森里川海オールインワンパッケージのコンテンツをつなぐ2次交通としてEVカーシェアを活用。 ・統一コンセプト「おだわら森里川海」のブランディングと持続可能な運営体制の整備。
30 AMAホールディングス株式会社	島根県隠岐郡海士町	地域課題の解決のため、ボトムアップ型のビジョニング経営を実現し、島全体を1つの株式会社海士町として捉え、官民連携のコレクティブインパクトを生み出す体制をつくり、外貨獲得産業の成長促進に加え地域内経済循環を高めることで、経済効果の向上を目指す。また、未来投資基金を設立し、環境・経済・社会を同時に高める事業が生まれ続ける仕組みをつくり「ないものはない」ライフスタイルの実現、自然と伝統文化、経済、最先端技術の調和の中で、老若男女が手を取り合い21世紀を切り拓く島づくりを目指す。	・海士町資本のとりまとめ、事業の種の見える化 ・海士町のビジョン作成 ・事業化支援の仕組みづくり
31 真庭市	岡山県真庭市	豊かな森林資源を活用した木質バイオマス発電等による木材やエネルギーの産業振興、里海から生まれるかきがらを利用した肥料を里山の農地へ還元する「真庭里海米」の市民への認知度の向上、草原を核とした蒜山地域の観光利用の検討など、真庭市の取り組みを1つのストーリーとして発信することで自立・分散型の地域循環共生圏づくりを推進し、エネルギーと食による里地里山里海保全のモデル「真庭ライフスタイル」を実現する。	・真庭市で行っている地域循環共生圏の複数の取り組みを1つのストーリーとして発信する ・真庭里海米の市民の認知度向上を図るためのアプローチの検討 ・草原を核とした蒜山地域の観光利用の検討
指標づくりの検討事例団体(1団体)			
32 伊豆半島ジオパーク推進協議会	静岡県伊豆半島15市町（沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、賀茂郡東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、田方郡函南町、駿東郡長泉町、清水町）	ジオパークと観光を軸として地域資源の保全・活用を図り「伊豆本来の姿」を主な価値とするサステイナブル・ツーリズム(持続可能な観光)を推進し、地域住民の雇用や所得の増加、事業継続を目指していく。地域内の北部(都市部)と中南部(観光地)のそれぞれの地域資源を持続的に活用しつつ、経済的にも自立できる地域や、サステイナブル・ツーリズムの推進を観光客に対し可視化することで持続可能な観光への理解とニーズの増加を目指す。	・観光地におけるサステイナブルツーリズム評価手法の設計・検討・試行